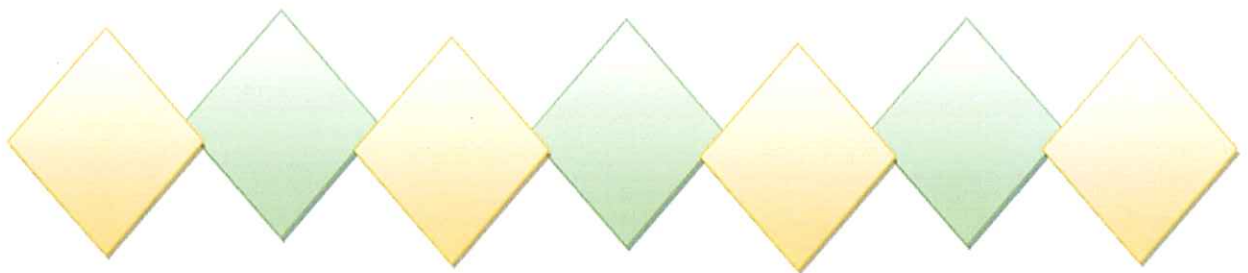


**学校教育環境等のあり方の基本方針
の見直しについて**



令和2年12月

宮城県村田町

1. 学校教育環境等のあり方の基本方針（平成30年6月策定）について

文部科学省は、平成27年に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を作成し、それぞれの地域の実情に応じた学校のあり方について、各市町村に検討を求めた。

これを受け、村田町では、本町における少子化の動向等を勘案し、学校教育環境とあわせて、幼稚園や保育所等の就学前児童の教育福祉施設のあり方について検討し、平成30年6月に「学校教育環境等のあり方の基本方針」を策定した。

その内容は次のとおりである。

①小学校

複式学級にならない規模であれば、当面は統合しない。

②中学校

平成35年4月（令和5年4月）に、中学校を一つにすることを目標に、それに係る課題を具体的に検討し、関係各位の理解を得るよう取り組む。

中学校を1校にした場合、財政的な観点から、村田第二中学校施設を大規模改修し、村田第二小学校施設として活用できるように準備を進める。

③幼稚園

園児数の大幅な減少が想定されるので、幼稚園を一つにする。時期は、保護者への周知期間等を考慮し、平成32年4月（令和2年4月）を目標とする。

④保育所

待機児童の解消を優先的に考え、保育所機能を民間に移行することを考える。時期は、平成32年4月（令和2年4月）を目標とし、実現を目指す。

⑤児童館・子育て支援センター

平成31年4月から村田児童館と沼辺児童館を村田町児童館として一本化し、村田及び沼辺留守家庭児童学級事業（学童保育）、子育て支援事業、児童館事業（学童保育以外）に取り組む。

当面、現 村田児童館を村田町児童館とし、子育て支援センター的機能を果たすよう配慮する。

村田留守家庭児童学級事業は、保育所機能の民間移行後、現 村田保育所施設を活用する。

沼辺留守家庭児童学級事業は、幼稚園統合後、現 沼辺幼稚園施設を活用する。

※平成30年8月1日発行の「広報むらた おしらせばん」に「学校教育環境等のあり方の基本方針」の概要掲載

2. 学校教育環境等のあり方の基本方針策定後の新たな課題について

学校教育環境等のあり方の基本方針策定以降、急激な出生者数の減少傾向が継続し、本町における少子化の状況が顕著となった。

また、令和元年10月からの「幼児教育の無償化制度」の開始を受け、教育を取り巻く環境が大きく変化した。

このような状況の変化を踏まえ、村田町は、次代を担う子どもたちの、この状況に即した、よりきめ細やかな教育を推進する環境の整備が重要であり、保護者の皆さまのライフスタイルや働き方に応じた、最適な子育て環境を整えることも急務と判断した。

そこで、再度、幼稚園、中学校の統合だけではなく、小学校のあり方も含めた総合的な見直しが必要であり、見直しに当たっては、保護者や地域の皆さまと話し合いを重ねながら進める旨、令和元年7月1日発行の「広報むらた おしらせばん」に掲載し、住民の皆さまの理解を求めた。

3. 学校教育環境等のあり方の基本方針の見直しに関する取り組みについて

見直しに関する保護者や地域の皆さまと話し合いについては、本町に甚大な被害をもたらした令和元年10月12日から13日かけての東日本台風に伴う災害復旧対応、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が困難な状況となっていた。

しかし、急激な出生者数の減少傾向による影響は、まず、幼稚園の教育環境における直近の課題であることから、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、村田・沼辺幼稚園、沼辺地区公民館等を会場に、本年7月から9月にかけて意見交換会を4回開催し、本年10月にも村田・沼辺幼稚園、沼辺地区公民館等を会場に4回開催した。この中で、保護者や地域の皆さまから貴重なご意見、ご要望をいただいた。

あわせて、村田・沼辺幼稚園の保護者及び0歳から2歳児の保護者を対象に、幼稚園の再編成、延長保育等の項目に関して「幼稚園教育に係るアンケート」調査を実施した。

また、本年7月から9月にかけての意見交換会及び急激な出生者数の減少傾向を踏まえ、令和2年度の第1回村田町総合教育会議（令和2年9月30日）を開催し、本町教育委員会委員各位と協議した。その後、本町教育委員会から、本年10月30日付けで「学校教育環境等のあり方の基本方針の見直し」に関する提案を受けた。

さらに、本年10月開催の意見交換会、「幼稚園教育に係るアンケート」調査結果を基に、再度、村田町総合教育会議（令和2年11月24日）を開催し、本町教育委員会委員各位と協議を重ねた。

4. 学校教育環境等のあり方の基本方針の見直しについて

①幼稚園 【園児数の推移：別紙資料1】

出生者数の減少に伴い、園児数の減少が避けられない現状にあること、「幼稚園教育に係るアンケート」調査結果（別紙資料2・別紙資料3）から、統合に賛成の立場の保護者の割合が高いことが明らかとなった。さらに、適正規模の幼稚園では、よ

り多くの人的、物的環境と園児がかかわることで、自尊心、自立心、協調性、社交性等といった社会性が身に付き、安心して小学校へと送り出していくことができる。

これらのことから、基本方針のとおり、村田幼稚園と沼辺幼稚園の統合が必要であり、両幼稚園を村田幼稚園施設に統合するものとする。統合の時期は、令和4年4月とする。

見直し内容については、「5. 学校教育環境等のあり方の基本方針の見直しに関する比較表」参照

②小学校・中学校 【 児童・生徒数の推移 : 別紙資料4 】

出生者数の減少に伴う幼稚園児数の減少は、これから先、小中学校の児童・生徒数においても、幼稚園同様に減少することが見込まれ、学校教育において、教員数の制限による習熟度別指導等の多用な指導方法の選択への影響、教育活動の幅の縮小、複式学級への懸念、人間関係の固定化によるコミュニケーション能力向上への影響等、小規模校が、教育条件の向上を図る観点から、克服が求められる課題が顕著となることが推測される。

ここで、今後の小中学校教育のあり方については、「子どもの教育条件をよりよいものにしなければならない」ということを大前提とし、将来にわたる義務教育の機会均等、教育水準の維持・向上、子どもが「生きる力」をはぐくむことができる学校教育を保障しなければなりません。

また、小中学校は、地域における文化・スポーツの活動施設等、様々な意味で地域の拠点的な役割と言うべき側面をあわせ持っている。

これらのことから、小中学校の今後の適正配置については、保護者や地域の皆さまとの十分な意見交換を踏まえた合意形成が必要であり、施設のあり方についても、小中一貫教育の検討を含めた議論を要し、仮に統合となる場合における既存施設の活用等の地域とのつながりの確保に関する検討も、あわせて必要であると判断する。

そこで、今後の小中学校の適正配置については、「統合」の方向とするが、「令和6年度まで方針を決定」するものとする。

見直し内容については、「5. 学校教育環境等のあり方の基本方針の見直しに関する比較表」参照

③保育所・児童館等の就学前児童教育福祉施設

保育所については、基本方針に示した民間移行の実現を踏襲し、民間移行に関する検討を継続する。

村田町子育て支援センターについては、児童館事業の一つとして、平成24年度から旧小泉幼稚園の施設を利用しているが、建物は、昭和51年の建築であり、老朽化が進み、子育て支援センターの活動に支障をきたす場合も生じている。

一方、村田町地域福祉センターで事業に取り組んでいる村田町社会福祉協議会において、事業規模縮小等に伴い、地域福祉センター内に空きスペースが生じていることから、このスペースを有効利用することが最適であると判断し、令和3年4月に子育て支援センターを地域福祉センターに移転するものとする。

これに伴い、村田町児童館についても、地域福祉センターに移転する。

村田留守家庭児童学級事業は、保育所機能の民間移行の動向により再考するものとする。

沼辺留守家庭児童学級事業は、幼稚園統合後、現 沼辺幼稚園施設を活用し、小学校統合の場合は、再考するものとする。

見直し内容については、「5. 学校教育環境等のあり方の基本方針の見直しに関する比較表」参照

5. 学校教育環境等のあり方の基本方針の見直しに関する比較表

	見直し（R2. 12）	基本方針（H30. 6）
幼稚園	配置計画	統合
	統合時期	令和4年4月
	統合施設	村田幼稚園
	見直しに関する付帯事項	延長保育の実施 年長児の部分給食の実施 付加価値のある幼児教育内容の追加 沼辺幼稚園区域からのスクールバス運行
中学校	配置計画	統合
	統合時期	令和6年度まで方針決定
	統合施設	令和6年度まで方針決定
	見直しに関する付帯事項	保護者との統合に関する十分な意見交換を踏まえた合意形成（小中一貫教育の検討含む） 基礎的な学力の定着に資する施策の推進 二中学区からのスクールバス運行
小学校	配置計画	統合
	統合時期	令和6年度まで方針決定
	統合施設	令和6年度まで方針決定
	見直しに関する付帯事項	保護者との統合に関する十分な意見交換を踏まえた合意形成（小中一貫教育の検討含む） 基礎的な学力の定着に資する施策の推進 二小学区からのスクールバス運行

保育所		見直し（R2. 12）	基本方針（H30. 6）
	配置計画	民間移行の検討	民間移行の実現
	統合時期	民間移行の協議経過による	令和2年4月
村田町児童館		見直し（R2. 12）	基本方針（H30. 6）
	組織計画	村田児童館、沼辺児童館を再編	村田児童館、沼辺児童館を再編
	組織移行時期	平成31年4月1日再編済み	平成31年度
	施設	令和3年4月 現 地域福祉センターに移転	現 村田町児童館
	見直しに関する付帯事項	村田・沼辺留守家庭児童学級事業、子育て支援センター事業、児童館事業を並列的に取り組む	
村田留守家庭児童学級	配置計画	保育所の民間移行の動向により再考	保育所の動向を見極めながら、現村田保育所
	移行時期	民間移行の協議経過による	保育所民間移行後
	見直しに関する付帯事項	対象学年の拡大	
沼辺留守家庭児童学級	配置計画	沼辺幼稚園統合後、現沼辺幼稚園。小学校統合の場合は再考	沼辺幼稚園統合後、現沼辺幼稚園。第二小学校移転の際は第二小学校内に併設
	移行時期	沼辺幼稚園統合後	沼辺幼稚園統合後
	見直しに関する付帯事項	対象学年の拡大	
子育て支援センター	配置計画	村田町児童館内で事業実施	村田町児童館内で事業実施
	施設	令和3年4月 から 現 地域福祉センター	現 村田町児童館
	見直しに関する付帯事項	預かり保育の実施	

◎令和2年度 村田幼稚園・沼辺幼稚園・村田保育所・園児数の推移

生年月日 学年	施設等集計		H26.4.2~ 年長(5歳児)		H27.4.2~ 年中(4歳児)		H28.4.2~ 年少(3歳児)		H29.4.2~ 2歳児		H30.4.2~ 1歳児		H31.4.2~ 0歳児		R2.4.2~ 0歳児	
	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数
村田幼稚園	97	6	33	2	31	2	33	2								
沼辺幼稚園	38	3	17	1	11	1	10	1								
幼稚園(小計)	135	9	50	3	42	3	43	3	0		0		0		0	
保育所(村田地区)	69	0	16		17		15		8		11		2			
保育所(沼辺地区)	27	0	7		5		6		6		3		0			
保育所(小計)	96	5	23	1	22	1	21	1	14	1	14	1	2	(1)	2	0
その他(村田地区)	101	0	0	0	0	0	4		20		19		29		29	29
その他(沼辺地区)	61	0	0	0	5	5	5		11		14		13		13	13
その他(小計)	162	0	0	0	5	5	9		31		33		42		42	42
村田地区計	267	0	49		48		52		28		30		31		31	29
沼辺地区計	126	0	24		21		21		17		17		13		13	13
合計	393	0	73		69		73		45		47		44		44	42

●園児・未就学児数については、住民基本台帳登録人数(令和2年12月1日現在)を使用する。

●保育所の0歳・1歳は混合クラスである。

●0歳児(R2.4.2~)については、出生数推移等から勘案し推計した数値とする。

◎令和4年度 村田幼稚園・沼辺幼稚園・村田保育所・園児数の推移(推計)

生年月日 学年	施設等集計		H28.4.2~ 年長(5歳児)		H29.4.2~ 年中(4歳児)		H30.4.2~ 年少(3歳児)		H31.4.2~ 2歳児		R2.4.2~ 1歳児		R3.4.2~ 0歳児		R4.4.2~ 0歳児	
	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数
村田幼稚園	70	4	33	2	18	1	19	1								
沼辺幼稚園	27	3	10	1	9	1	8	1								
幼稚園(小計)	97	7	43	3	27	2	27	2	0		0		0		0	
保育所(村田地区)	42	0	16		9		9		8							
保育所(沼辺地区)	23	0	7		5		5		6							
保育所(小計)	65	4	23	1	14	1	14	1	14	1	0		0		0	
その他(村田地区)	111	0	3		1		2		23		29		27		26	26
その他(沼辺地区)	57	0	4		3		4		7		13		12		14	14
その他(小計)	168	0	7		4		6		30		42		39		40	40
村田地区計	223	0	52		28		30		31		29		27		26	26
沼辺地区計	107	0	21		17		17		13		13		12		14	14
合計	330	0	73		45		47		44		42		39		40	40

(推計)

●園児・未就学児数については、住民基本台帳登録人数(令和2年12月1日現在)を使用し、園児数については、令和2年度の在籍率から勘案し推計した数値とする。

●幼稚園は1クラス20名、保育所は各学年1クラス(0歳・1歳は混合クラス)とする。

●2歳児(R2.4.2~)以降については、出生数推移等から勘案し推計した数値とする。

令和 2 年度 幼稚園教育に係るアンケート 集計結果

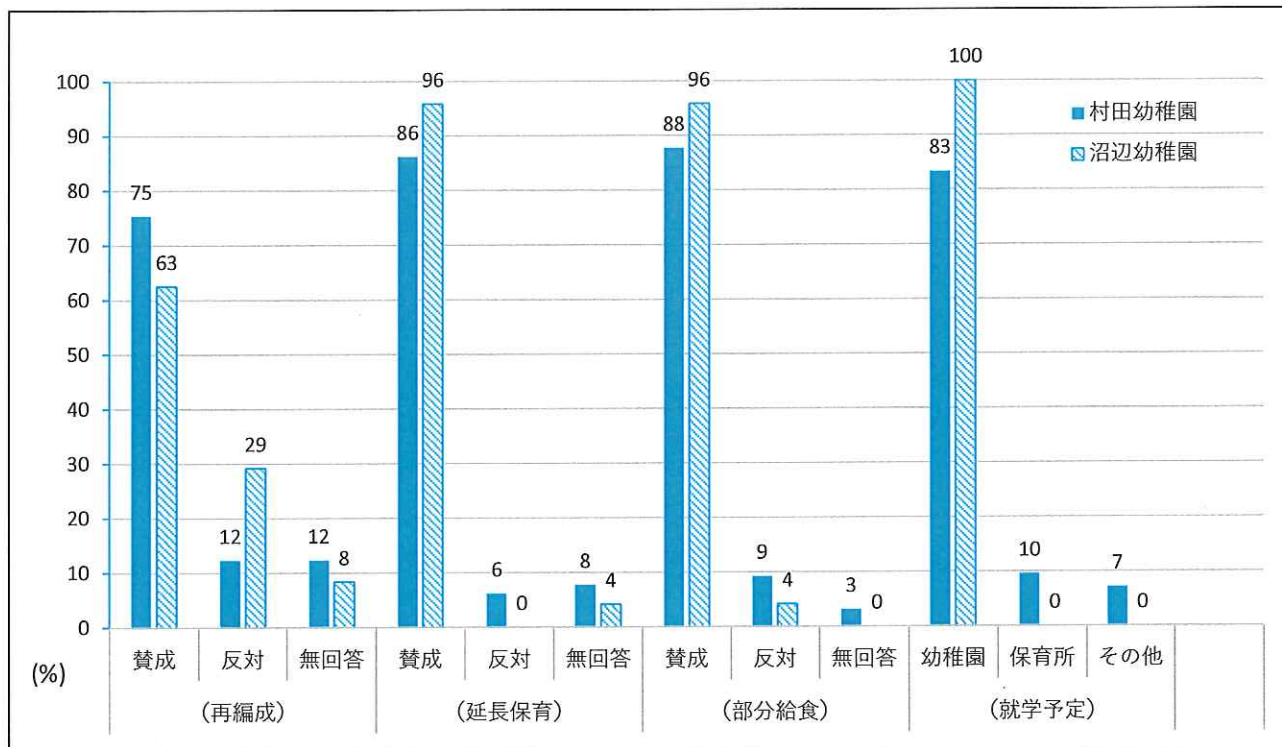
村田町教育委員会教育総務課

1. 対象者：町内幼稚園保護者
2. 期 間：令和2年10月16日～10月23日
3. 結 果：下記の通り

○提出件数

村幼： 65 件 (内 配布部数 97 件) 提出率 67.01 %
 沼幼： 24 件 (内 配布部数 37 件) 提出率 64.86 %

○回答状況



園ごとに人数に応じた割合(%)	賛成派		反対派		無回答	
	村田	沼辺	村田	沼辺	村田	沼辺
(1) 再編成について	75%	63%	12%	29%	12%	8%
(2) 延長保育について	86%	96%	6%	0%	8%	4%
(3) 部分給食について	88%	96%	9%	4%	3%	0%
就学予定を幼稚園・保育所・その他から選択した回答の内の割合(%) ※無回答除く	幼稚園		保育所		その他	
	村田	沼辺	村田	沼辺	村田	沼辺
(4) 就学予定について	83%	100%	10%	0%	7%	0%

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入して記載しているため、合計しても必ず100にはならないものとする。

令和2年度 幼稚園教育に係るアンケート 集計結果（2）

村田町教育委員会教育総務課

1. 対象者：世帯に0歳～2歳児がいる家庭の世帯主

2. 期 間：令和2年11月5日～11月16日

3. 結 果：下記の通り

○提出件数

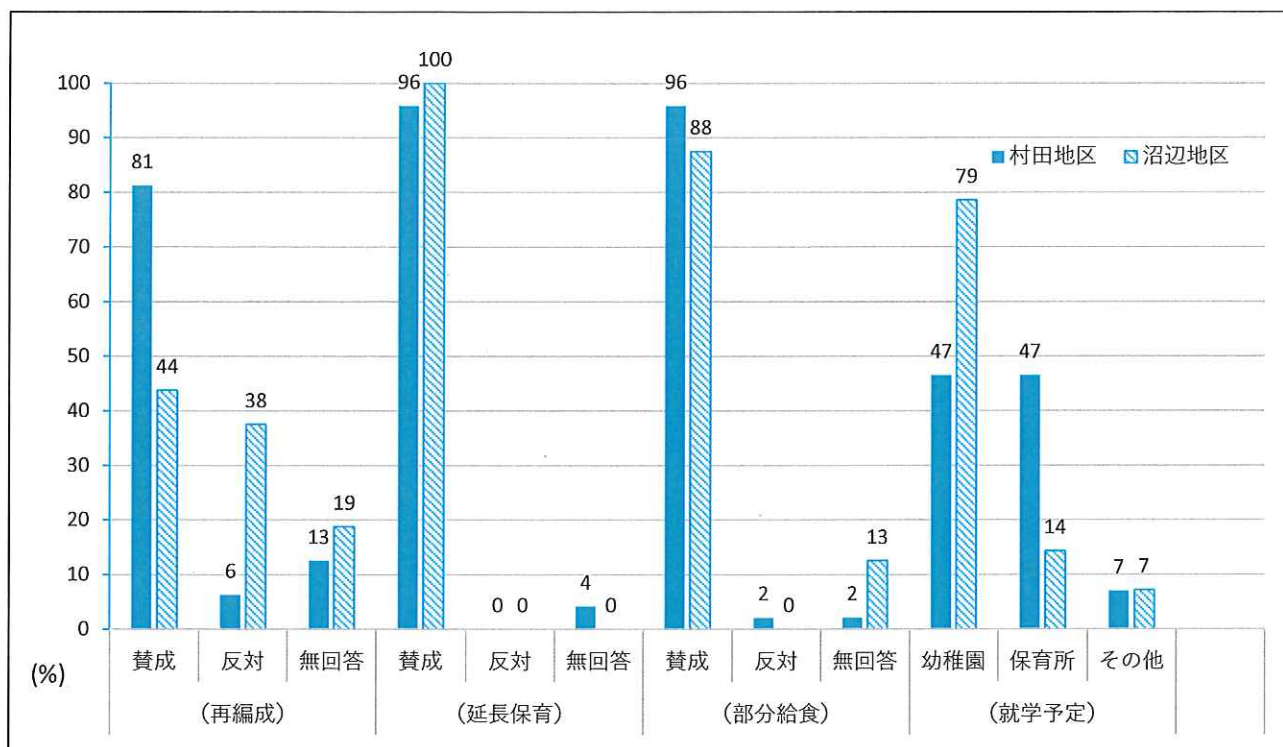
村田地区： 48 件（内 配布部数 85 件）

提出率 56.47 %

沼辺地区： 16 件（内 配布部数 43 件）

提出率 37.21 %

○回答状況



園ごとに人数に応じた割合(%)	賛成派		反対派		無回答	
	村田	沼辺	村田	沼辺	村田	沼辺
(1) 再編成について	81%	44%	6%	38%	13%	19%
(2) 延長保育について	96%	100%	0%	0%	4%	0%
(3) 部分給食について	96%	88%	2%	0%	2%	13%
就学予定を幼稚園・保育所・その他から選択した回答の内の割合(%) ※無回答除く	幼稚園		保育所		その他	
	村田	沼辺	村田	沼辺	村田	沼辺
(4) 就学予定について	47%	79%	47%	14%	7%	7%

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入して記載しているため、合計しても必ず100にはならないものとする。

◎令和2年度 生徒・児童数の推移

生年月日 学年	H17.4.2~			H18.4.2~			H19.4.2~			H20.4.2~			H21.4.2~			H22.4.2~			H23.4.2~			H24.4.2~			H25.4.2~		
	中3			中2			中1			小6			小5			小4			小3			小2			小1		
人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数
村田地区小中学校	55	2	55	2	76	2	186	6	62	2	51	2	54	2	61	2	56	2	52	2	56	2	52	2	336	12	
沼辺地区小中学校	24	1	22	1	32	1	78	3	21	1	27	1	18	1	24	1	23	1	17	1	23	1	17	1	130	6	
(小計)	79	3	77	3	108	3	264	9	83	3	78	3	72	3	85	3	79	3	69	3	79	3	69	3	466	18	
村田 (区域外)	5	0	0	0	2	2	7		1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4		
沼辺 (区域外)	1	0	2	1	1	1	4		0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	1	2	2	2	1	2	6		
(小計)	6	0	2	2	3	11		1	1	1	1	1	1	1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	10		
村田地区 計	60	2	55	2	78	2	193	6	63	2	52	2	54	2	62	2	56	2	53	2	56	2	53	2	340	12	
沼辺地区 計	25	1	24	1	33	1	82	3	21	1	27	1	19	1	26	1	25	1	18	1	25	1	18	1	136	6	
合計	85	3	79	3	111	3	275	9	84	3	79	3	73	3	88	3	81	3	71	3	81	3	71	3	476	18	

●児童・生徒数については、住民基本台帳登録人数（令和2年12月1日現在）を使用する。

●クラス数については、特別支援学級数を除いた数とする。

◎令和10年度 生徒・児童数の推移（推計）

生年月日 学年	H25.4.2~			H26.4.2~			H27.4.2~			H28.4.2~			H29.4.2~			H30.4.2~			H31.4.2~			R2.4.2~			R3.4.2~		
	中3			中2			中1			小6			小5			小4			小3			小2			小1		
人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数		
村田地区小中学校	52	2	49	2	47	2	148	6	52	2	27	1	30	1	30	1	29	1	26	1	29	1	26	1	194	7	
沼辺地区小中学校	17	1	24	1	20	1	61	3	21	1	16	1	17	1	12	1	13	1	11	1	13	1	11	1	90	6	
(小計)	69	3	73	3	67	3	209	9	73	3	43	2	47	2	42	2	42	2	37	2	42	2	37	2	284	13	
村田 (区域外)	1	0	0	0	1	1	2		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3		
沼辺 (区域外)	1	0	0	0	1	1	2		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3		
(小計)	2	0	0	0	2	2	4		0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	6		
村田地区 計	53	2	49	2	48	2	150	6	52	2	28	1	30	1	31	1	29	1	27	1	29	1	27	1	197	7	
沼辺地区 計	18	1	24	1	21	1	63	3	21	1	17	1	17	1	13	1	13	1	12	1	13	1	12	1	93	6	
合計	71	3	73	3	69	3	213	9	73	3	45	2	47	2	44	2	42	2	39	2	42	2	39	2	290	13	

●児童・生徒数については、住民基本台帳登録人数（令和2年12月1日現在）を使用する。ただし、小1及び小2については、出生数推移等から勘案し推計した数値とする。

●区域外就学者は、隔年度において各地区1名ずつとする。

●1クラス30名とする。